九州地方プリント No.11

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

名前

出席番号　　必要な人は書く

問1　沖縄県の観光産業における現状と課題について、外国人観光客の満足度や不満度の統計的な傾向をふまえて説明した文として、適切なものはどれですか。

- ○ 宿泊施設での対応には満足している一方で、観光地でのWiFi環境が完全に整備されているため不満は存在しない。
- ○ 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。
- ○ 現地の食事や土産品に対する満足度が著しく低く、観光資源の質の向上が求められている。
- ○ 公共交通機関の利便性については高く評価されているが、外国語での案内表示が全くないことが不満に繋がっている。

問2　沖縄県は年間降水量が全国的に見ても多い地域ですが、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。その自然環境的な理由として最も適切な説明を選びなさい。

- ○ 地形が平坦で大規模な盆地が多いため、雨水が地表に溜まらずにすぐ地下へ浸透してしまうから。
- ○ サンゴ礁が発達している影響で、河川に塩分が混じりやすく飲料水として利用できる水が限られているから。
- ○ 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。
- ○ 年間を通して日照時間が非常に長く、ダムに蓄えられた水の大部分が蒸発して失われてしまうから。

問3　地形図において、標高の高い平坦な面である「台地」の部分に、アルファベットの「V」の字に似た地図記号が多数記されている場所があります。シラス台地におけるこの場所の状況を説明したものとして適切なものを選びなさい。

- ○ 雨水を溜めるための調整池が並ぶ、水田地帯になっている。
- ○ 火山灰の飛散を防ぐために、落葉広葉樹が植えられた森林になっている。
- ○ 地力を高めるために、果樹の苗木を植えたばかりの果樹園になっている。
- ○ 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。

問4　九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。

- ○ 対馬・リマン海流
- ○ 壱岐・日本海海流
- ○ 対馬・対馬海流
- ○ 壱岐・対馬海流

問5　福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

- ○ 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
- ○ 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
- ○ 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
- ○ 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。

問6　沖縄県の農産物において、県全体の栽培面積の割合を見ると、本島北部の東村が34%、石垣市が27%、国頭村が9%、名護市が8%を占めている果実があります。この果実の名称として正しいものを選びなさい。

- ○ パイナップル
- ○ マンゴー
- ○ スイカ
- ○ 紅芋

問7　九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。

- ○ シラス台地
- ○ カルデラ
- ○ 扇状地
- ○ 三角州

問8　九州地方に位置するある県は、年間の農業産出額が4000億円を超え、全国でも有数の農業県として知られています。この県の農業産出額の内訳において、豚や肉用牛、ブロイラーなどの「畜産」が占める割合は約60.9%と過半数に達していますが、この県はどこですか。

- ○ 鹿児島県
- ○ 北海道
- ○ 宮崎県
- ○ 茨城県

問9　土地の条件に応じた人々の生活の工夫について、南九州のシラス台地における水利用の特徴を正しく説明しているものはどれですか。

- ○ 土地が非常に平坦で水が滞留しやすいため、住居を高く盛り土した「輪中」のような構造の中に井戸を掘った。
- ○ 地表の土壌が非常に硬く掘削が困難なため、遠方の河川から「疎水」と呼ばれる長い水路を引いて水を確保した。
- ○ 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいため、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。
- ○ 水田稲作に適した粘土質の土壌が広がっているため、ため池を各地に作り、網の目のような用水路を張り巡らせた。

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう

九州地方プリント No.11

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 沖縄県の観光産業における現状と課題について、外国人観光客の満足度や不満度の統計的な傾向をふまえて説明した文として、適切なものはどれですか。

- ○ 宿泊施設での対応には満足している一方で、観光地でのWiFi環境が完全に整備されているため不満は存在しない。
- ● 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。
- ○ 現地の食事や土産品に対する満足度が著しく低く、観光資源の質の向上が求められている。
- ○ 公共交通機関の利便性については高く評価されているが、外国語での案内表示が全くないことが不満に繋がっている。

問2 沖縄県は年間降水量が全国的に見ても多い地域ですが、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。その自然環境的な理由として最も適切な説明を選びなさい。

- ○ 地形が平坦で大規模な盆地が多いため、雨水が地表に溜まらずにすぐ地下へ浸透してしまうから。
- ○ サンゴ礁が発達している影響で、河川に塩分が混じりやすく飲料水として利用できる水が限られているから。
- ● 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。
- ○ 年間を通して日照時間が非常に長く、ダムに蓄えられた水の大部分が蒸発して失われてしまうから。

問3 地形図において、標高の高い平坦な面である「台地」の部分に、アルファベットの「V」の字に似た地図記号が多数記されている場所があります。シラス台地におけるこの場所の状況を説明したものとして適切なものを選びなさい。

- ○ 雨水を溜めるための調整池が並ぶ、水田地帯になっている。
- ○ 火山灰の飛散を防ぐために、落葉広葉樹が植えられた森林になっている。
- ○ 地力を高めるために、果樹の苗木を植えたばかりの果樹園になっている。
- ● 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。

問4 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。

- ○ 対馬・リマン海流
- ○ 壱岐・日本海海流
- ● 対馬・対馬海流
- ○ 壱岐・対馬海流

問5 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

- ○ 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
- ○ 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
- ○ 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
- ● 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。

問6 沖縄県の農産物において、県全体の栽培面積の割合を見ると、本島北部の東村が34%、石垣市が27%、国頭村が9%、名護市が8%を占めている果実があります。この果実の名称として正しいものを選びなさい。

- ● パイナップル
- ○ マンゴー
- ○ スイカ
- ○ 紅芋

問7 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。

- ○ シラス台地
- ● カルデラ
- ○ 扇状地
- ○ 三角州

問8 九州地方に位置するある県は、年間の農業産出額が4000億円を超え、全国でも有数の農業県として知られています。この県の農業産出額の内訳において、豚や肉用牛、ブロイラーなどの「畜産」が占める割合は約60.9%と過半数に達していますが、この県はどこですか。

- ● 鹿児島県
- ○ 北海道
- ○ 宮崎県
- ○ 茨城県

問9 土地の条件に応じた人々の生活の工夫について、南九州のシラス台地における水利用の特徴を正しく説明しているものはどれですか。

- ○ 土地が非常に平坦で水が滞留しやすいため、住居を高く盛り土した「輪中」のような構造の中に井戸を掘った。
- ○ 地表の土壌が非常に硬く掘削が困難なため、遠方の河川から「疎水」と呼ばれる長い水路を引いて水を確保した。
- ● 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいため、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。
- ○ 水田稲作に適した粘土質の土壌が広がっているため、ため池を各地に作り、網の目のような用水路を張り巡らせた。